

事 務 連 絡
平成30年7月18日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校事務主管課
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課 御中
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体株式会社立学校事務主管課
各国公立高等専門学校事務局

文部科学省初等中等教育局教育課程課

平成30年度環境教育リーダー研修基礎講座の実施について（依頼）

このたび、教職員、教育委員会関係者、地方公共団体の環境教育担当者等を対象とした環境教育に関する研修会を別添の実施要項により実施することになりましたのでお知らせいたします。

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課におかれては、所管の学校（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校等をいう。以下同じ。）及び域内の市区町村教育委員会に対し、各都道府県私立学校事務主管課におかれては、所轄の学校及び学校法人に対し、各国公立大学法人附属学校事務主管課におかれては、その管下の学校に対し、各地方公共団体株式会社立学校事務主管課におかれては、その主管に係る学校に対しこのことを御周知くださいますようお願い致します。

<文部科学省連絡先>

文部科学省初等中等教育局教育課程課
教育課程第二係（橋本、荻野、太田桐）

TEL : 03-5253-4111（内線2613）

FAX : 03-6734-3734

E-mail:kyoiku@mext.go.jp

～持続可能な社会の担い手育成に向けた環境教育・ESDを学ぶ～

実施要項

(主催：環境省 協力：文部科学省)

【募集要項】

1 研修の趣旨

「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律（通称「環境教育等促進法」）」において環境教育は「持続可能な社会の構築」を目指すものとされています。このため、その実践にあつては、身近な自然や地域を通じて環境と社会、経済及び文化とのつながりの理解を促していくとともに、知識や思考力といった認知的な側面のみならず、心情、態度、意欲及び感性など社会・情動的な側面についても、発達段階に応じてバランス良く育成していくことが求められます。

また、新学習指導要領においては、「持続可能な社会の創り手」に必要な資質・能力を育成することが掲げられるとともに、「カリキュラム・マネジメント」の充実や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善（アクティブ・ラーニングの視点による授業改善）を図っていくことが示されています。

さらに、環境教育の手法としてこれまでも重要とされてきた「体験活動」は、持続可能な社会づくりへの参加を促すという観点から捉え直し、実践を行う必要があり、学校教育においては、持続可能な開発のための教育（ESD）の視点から、体験活動と各教科等の学びをつなげていくことが重要となります。

本研修は、これらとの関連を踏まえつつ、持続可能な社会の構築を目指して、地域で環境教育・学習を推進するリーダー的な人材を育成することを目的とするものです。

2 研修の内容

環境教育は、発達段階に応じて、学校のみならず、家庭、職場、地域といったあらゆる場で実践されるものです。本年度は、以下2つのコースを設けました。

① **カリキュラム・デザイン・コース**

このコースでは、平成29年度に文部科学省の協力を得て作成した学校向け資料「学びをつなげる環境教育～ESDの視点から環境教育を捉えなおす～」を活用して、環境教育への理解を深めつつ、主として教員のカリキュラム・デザイン力や実践力を高めるための研修を行います。

このコースでは、学校のカリキュラムにどのように落とし込んでいくかという具体的な演習を行うため、参加対象は教職員や教育行政担当者いたします。なお、参加動機・実務経験等によってはお断りをさせていただきます。その点、ご了承ください。

本年度は、以下の2形態で実施します。

○ **集合型研修（2回、各回定員50名）**

平成30年9月 1日（土）場所：新宿NSビル（予定）

平成31年1月14日（月）場所：未定（都内開催）

○ **講師派遣型研修（計10カ所）**

- ・ 多忙な学校現場の実情を考慮し、本年度から講師派遣型の研修を導入することといたしました。具体的には、講師を学校、教育委員会、教職員研修センター等に派遣し、資料「学びをつなげる環境教育」を活用した教員向けのワークショップを実施します。日程や内容は現場のニーズに沿う形で調整いたします。

本年度は全国10カ所への派遣を予定しており、原則先着順といたします。希望される方は、事務局まで申込みをお願いします。

※資料「学びをつなげる環境教育」は、こちらをご覧ください。

https://www.eeel.go.jp/lib/pdf/H30_manabi.pdf

※なお、講師派遣、参加者に配布する資料送付等に係る費用は、事務局で負担いたします（詳細は事務局までお問い合わせください。）

② プログラム・デザイン・コース

このコースでは、環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」等を訪問し、実際に体験活動しながら大人・子どもの行動や意識の変容を促すポイントを学びます。持続可能な社会づくりを支える現場（民間企業等）との交流も予定しています。

各回で募集対象や内容が異なります。会場によっては、地域の方と一緒に活動を体験いただく内容もあります。詳細は事務局のホームページをご確認ください。

http://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/

平成30年

8月 4日（土）阿波座南公園（大阪市西区）

「子どもも大人も」自然とつながる・人とつながる～阿波座南公園ビオトープでの実践～」

8月18日（土）兵庫県私学会館（兵庫県神戸市）「乳幼児と自然をつなぐ」

★ 9月13日（木）石坂産業株式会社（埼玉県入間郡三芳町）

★ 9月21日（金）サンデンファシリティ株式会社（群馬県前橋市）

★10月 2日（火）キープ協会（山梨県北杜市）

★11月 9日（金）石坂産業株式会社（埼玉県入間郡三芳町）

△12月13日（木）オガワエコノス株式会社（広島県府中市）

平成31年

★ 1月18日（金）石坂産業株式会社（埼玉県入間郡三芳町）

以下は、追加で開催を調整中です。

銚子海洋研究所（千葉県銚子市）、石坂産業株式会社（埼玉県入間郡三芳町）

★印の付いた会場は、都内発着（霞ヶ関・新宿）から送迎バスをご用意する予定です。
△印の付いた会場は、JR福山駅発着の送迎バスをご用意する予定です。

3 申し込み方法

<オンライン申し込み>

研修事務局のホームページにある「お申込みフォーム」に必要事項をご記入のうえ、送信してください。

http://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/

※オンライン申し込みが出来ない、うまくいかない場合は、

<FAXによる申し込み>

所定の「申込用紙」に必要事項をご記入のうえ、研修事務局までFAXにてお申し込みください。

FAX :03-5834-2898

「申込用紙」は研修事務局のホームページからダウンロードができます。

<申込み期限>

各研修開催日の1週間前まで。

※ 先着順での受付とし、定員に達し次第、募集を締め切ります。受講の可否については、後日メールにてお知らせいたします。

<研修受講前の準備について>

事前に資料を作っていただく等の課題を予定しております。詳細については、申込み後に送付する「研修のしおり」をご参照ください。

<その他>

受講料は無料です。

研修会場、集合場所までの交通費や昼食、宿泊費等は自己負担となります。

お問合せ、申込用紙の送付先

<研修運営事務局> （公社）日本環境教育フォーラム内
担 当 小堀

TEL: 03-5834-2897 MAIL: esd-kenshyu@jeef.or.jp

平成30年度 教職員等環境教育・ 学習推進リーダー 育成研修

～持続可能な社会の担い手育成に向けた環境教育・ESDを学ぶ～

環境教育の実践は、身近な自然や地域を通じて環境と社会、経済及び文化とのつながりの理解を促し、認知的及び社会・情動的な側面においても、発達段階に応じてバランス良く育成していくことが求められます。また学校教育においては、持続可能な開発のための教育（ESD）の視点から、体験活動と各教科等の学びをつなげていくことが重要です。

本研修は、持続可能な社会の構築を目指して、地域で環境教育・学習を推進するリーダー的な人材を育成することを目的とするものです。

①カリキュラム・デザイン・コース

このコースでは、平成29年度に文部科学省の協力を得て作成した学校向け資料「学びをつなげる環境教育～ESDの視点から環境教育を捉え直す～」を活用して、環境教育への理解を深めつつ、主として教員のカリキュラム・デザイン力や実践力を高めるための研修を行います。

対象

小中高校の教員等の学校関係者
(教科横断型の環境教育を教育現場で
推進するリーダー人材を育成)。

本年度は、以下の2形態で実施します。

- 集合型研修（2回、各回定員50名）
- 講師派遣型研修（計10カ所）

②プログラム・デザイン・コース

このコースでは、環境教育等促進法に基づく「体験の機会のある場」等を訪問し、実際に体験活動しながら大人・子どもの行動や意識の変容を促すポイントを学びます。持続可能な社会づくりを支える現場（民間企業等）との交流も予定しています。

対象

NPO/NGO、行政や民間企業等の職員、教員や教育関係者等（持続可能な社会づくりへの参加を促進していく上で有効な「体験活動」を企画、実践することができるリーダー育成）

カリキュラム・デザイン・コース 研修の形態

本年度は、以下の2形態で実施します。

○集合型研修(2回、各回定員50名)

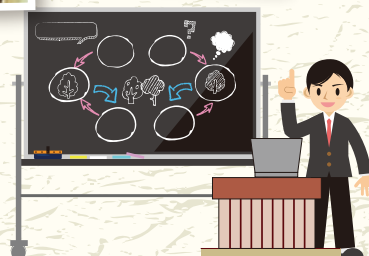
平成30年9月1日(土) 場所:新宿NSビル

平成31年1月14日(月) 場所:未定(都内開催)

○講師派遣型研修(計10カ所)

講師を学校、教育委員会、教職員研修センター等に派遣し、資料「学びをつなげる環境教育」を活用した教員向けのワークショップを実施します。日程や内容は現場のニーズに沿う形で調整いたします。本年度は全国10カ所への派遣を予定しており、原則先着順といたします。研修運営事務局へお問合せください。

資料「学びをつなげる環境教育」https://www.eeel.go.jp/lib/pdf/H30_manabi.pdf



プログラム・デザイン・コース スケジュール

平成30年

8月4日(土)阿波座南公園(大阪市西区)

8月18日(土)兵庫県私学会館(兵庫県神戸市)

★9月13日(木)石坂産業株式会社(埼玉県入間郡三芳町)

★9月21日(金)サンデンファシリティ株式会社(群馬県前橋市)

★10月2日(火)キープ協会(山梨県北杜市)

★11月9日(金)石坂産業株式会社(埼玉県入間郡三芳町)

△12月13日(木)オガワエコノス株式会社(広島県府中市)

平成31年

★1月18日(金)石坂産業株式会社(埼玉県入間郡三芳町)

★印の付いた会場は、都内発着の送迎バスを出します。

△印の付いた会場は、JR福山駅発着の送迎バスを出します。



申し込み方法

研修の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

http://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/

<オンライン申し込み>

研修事務局のホームページにある「お申込みフォーム」に必要事項をご記入のうえ、送信してください。

<研修受講前の準備について>

事前に資料を作って頂く等の課題を予定しております。詳細については、申込み後に送付する「研修のしおり」をご参照ください。

<申込み期限>

各研修開催日の1週間前まで。

※先着順での受付とし、定員に達し次第、募集を締め切ります。受講の可否については、後日メールにてお知らせいたします。

<その他>

受講料は無料です。研修会場や集合場所までの交通費や昼食、宿泊費等は自己負担となります。

お問合せ、申込用紙の送付先

研修運営事務局(公益社団法人 日本環境教育フォーラム内)

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5 日能研ビル1F

TEL: 03-5834-2897

MAIL: esd-kenshyu@jeef.or.jp (担当: 小堀)